

村議会だより



《親子山村留学制度》

■ 阿室小中学校

山村留学生

小学生 11名

中学生 6名

合計 17名

■ 名柄小中学校

山村留学生

小学生 5名

中学生 2名

合計 7名



■ 発行・編集／宇検村議会

議会だより編集委員会

議長 前田 啓一

委員長 元山 公知

委員 幸 春美

委員 吉永 常明

TEL0997-67-2211

● 主な内容

3月定例会の審議案件等	8
平成23年度 補正予算	8
予算審査特別委員会委員長報告	9
一般質問	10～17
編集後記	18

平成24年 第1回(3月)定例会で審議された案件

議案番号	議案名	議決結果
議案第1号	平成24年度宇検村一般会計予算について	可決
議案第2号	平成24年度宇検村国保事業特別会計予算について	可決
議案第3号	平成24年度宇検村国保施設事業特別会計予算について	可決
議案第4号	平成24年度宇検村簡易水道事業特別会計予算について	可決
議案第5号	平成24年度宇検村農業集落排水事業特別会計予算について	可決
議案第6号	平成24年度宇検村漁港漁村集落排水事業特別会計予算について	可決
議案第7号	平成24年度宇検村宇検村介護保険事業特別会計予算について	可決
議案第8号	平成24年度宇検村後期高齢者医療事業特別会計予算について	可決
議案第9号	平成23年度宇検村一般会計補正予算について	可決
議案第10号	平成23年度宇検村国保事業特別会計補正予算について	可決
議案第11号	平成23年度宇検村国保施設事業特別会計補正予算について	可決
議案第12号	平成23年度宇検村簡易水道事業特別会計補正予算について	可決
議案第13号	平成23年度宇検村介護保険事業特別会計補正予算について	可決
議案第14号	平成23年度宇検村後期高齢者医療事業特別会計補正予算について	可決
議案第15号	宇検村報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例について	可決
議案第16号	宇検村社会教育委員条例の一部を改正する条例について	可決
議案第17号	宇検村中央公民館設置管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第18号	宇検村営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について	可決
議案第19号	宇検村過疎地域自立促進計画の一部変更について	可決
議案第20号	宇検村国民保険宇検診療所の指定管理者の指定について	可決
議案第21号	村道の認定について	可決
議案第22号	宇検村介護保険条例の一部を改正する条例について	可決

第1回
定例会

平成23年度一般会計補正予算 2,204万1千円減額可決 総額26億3,441万3千円

3月議会は、3月9日から26日までの18日間の会期で開催されました。

平成23年度一般会計補正予算、特別会計補正予算のほか条例改正等及び平成24年度一般会計当初予算、特別会計予算等が審議され、すべての議案が原案のどおり可決されました。

■平成23年度特別会計補正予算

事業名	補正額	総額
宇 検 村 国 保 事 業	1,095 千円	3 億 8,945 万 3 千円
宇 検 村 国 保 施 設 事 業	2,768 千円	7,736 万 2 千円
宇 検 村 簡 易 水 道 事 業	753 千円	2 億 1,890 万 2 千円
宇 検 村 介 護 保 険 事 業	1,313 千円	3 億 1,455 万 9 千円
宇 検 村 後 期 高 齢 者 医 療 事 業	450 千円	3,692 万円

平成24年度宇検村一般会計・特別会計予算審査報告

※平成24年度一般会計・特別会計当初予算は、22ページへ掲載されております。



予算審査特別委員会
委員長 幸 春美

《一般会計予算について》

歳入・歳出総額 24 億 8983 万 9 千円 前年度対比 3.5%の増で額にして 8310 万 3 千円の増額予算となっている。

歳入の内訳は、自主財源の村税は、前年度対比－ 1.8%で 249 万 1 千円の減、地方交付税は前年度対比－ 1.3%で 2 千万円の減、国庫支出金は、前年度対比＋ 10%で 1981 万 5 千円の増、県支出金は、前年度対比＋ 3.8%で 505 万 5 千円の増、繰入金については前年度対比＋ 89.1%で 9020 万 5 千円の増となっている。

本年度も基金からの繰入れによって予算編成を行っているところは、財政状況が引き続き厳しい状況にあるものとする。今後、新たな自主財源増の施策を図る事は必要且つ早急な対応が求められている。

歳出の内訳は、人件費 5 億 7006 万 3 千円、扶助費 1 億 2869 万円、公債費 5 億 4030 万円、普通建設費 4 億 1596 万 4 千円、物件費 3 億 1027 万 1 千円、補助費 2 億 7688 万 4 千円、繰出金 2 億 3736 万 7 千円となっている。又、義務的経費 49.8% 投資的経費 16.7% その他 33.5%となっており、公債費は、前年度より 1 千万円減額計上している。

依然として財政の硬直化の現状と考えられ、今後とも公債費適正化計画に基づいて予算執行を行い、公債費率を下げる努力を望む。



《特別会計予算について》

7 特別会計歳入歳出総額 12 億 1577 万 8 千円、前年度対比 11.5%の増で額にして 1 億 2584 万 9 千円の増額予算となっている。

国保財政は、高齢化社会を背景に医療保険の諸情勢は益々厳しく、事業費が前年度対比 18.1%の増で 4 億 758 万 4 千円、国保施設事業費で前年度対比 45.0%増は施設の設備投資が要因である。財政健全化を目指す為にも、独立採算制原則の下に、経費の抑制が大きな課題であるとする。中期的、長期的視野に立った議論をすべきであるとする。

《主な要望事項》

- 地方交付税の今後の推移とその用途についても住民サービスを考えて取り組むべき
- 村税、住宅使用料、水道使用料の滞納等については、権利と義務の上からも納税相談を強力に進めるべき
- 通学路、一般道路沿線の松の枯損木の除去を早急にすべき



《審査の結果》

本年度予算は、第 4 次宇検村長期振興計画に基づいた 10 年間の総括した予算編成と考える。未曾有の大災害、景気の後退等、国の財政状況が大きく影響し、地方にとっては厳しい時代の中で、本予算は行財政の健全化計画と並行して、医療、保健、福祉の充実に努め、雇用の創出、人口の定着促進を図り、地域発展を展望する予算案であるとする。

第 4 次宇検村長期振興計画の総括の年として村長の経営手腕に大きく期待する。

一般質問 村政を問う

※一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、村長の考え方や村政の執行状況について事実の説明を求めたり、所信を問いただすものです。



松井 辰夫 議員

農業の振興策は。
元田村長／換金できる農業を進めていく。

(松井) それぞれの換金作物についてどう考えているか。

(村長) サトウキビは、平成二十二年からの奨励金補助により、栽培面積は確実に増えている。今後は奨励金が無くても継続的に栽培できるよう、技術面での支援をしながら、農家の育成を図っていく。

カボチャ、パッションフルーツ、マンゴーは、高齢化や後継者難などで栽培農家、面積とも横ばい状態であるが、関係者と協力しながら、面積拡大を目指す。

タンカン、奄美市の共同選果場が完成するので、定量を安定的に出荷できるように、関係機関と情報交換しながら、増産に向けて支援していく。



(松井) 平成二十四年度のサトウキビの栽培面積は。(建経課長) 面積はまだ確定していませんが、目標の30haに近づくように頑張っていきたい。

(松井) 崎原地区の基盤整備地は、ほとんどが使用されていない状況だと思いが、どのような対策をしているか。

(建経課長) 今年から新しいイノシシ防護柵を設置し

ていくので、サトウキビを栽培する農家が増えると期待している。

(松井) メイチュウ被害等の対策は。

(建経課長) 農家の方への説明会を実施し、メイチュウ予防薬の補助をします。



▲メイチョウの幼虫(方言名:じむし)

(松井) タンカンの品質向上に努めなければいけないと思うが、どう考えるか。

(建経課長) 各地区のタンカン出荷協議会で説明し、要請していきたい。

(松井) カボチャの作付面積が減少しているが、どう考えているか。

(建経課長) 農家の方々の

高齢化、後継者難が一番の原因だと思います。また敷き草等、資材が入手しにくいというのも原因のひとつだと思います。

(松井) マンゴー栽培農家数と作付面積は。

(建経課長) 現在、三十九戸の農家が1.5haで栽培しています。

(松井) マンゴーの販路について、どのように考えているか。

(建経課長) 現在は個販が主であるが、今後農協の選果場を利用し、個販か共販か農協と話し合いながら販路を拡大していきたい。

活性化センターの今後の運営は。

元田村長／有効的な利用を進めたい。

(松井) 活性化センターゆいの館についてですが、村長は昨年の十二月定例会

で、今年のタンカン収穫期前までに、各種機器のメンテナンスを終了させ、元気の出る公社が運営すると答弁されたが、現時点では稼働していない。今後の運営は。

(松井) うけんMaréの機器の精算はできているか。

(総企課長) 担当職員が分け作業もしてあり、それぞれ区分けがついている。

(松井) 機器は今後どうするのですか。

(総企課長) 庁内にワーキンググループを作り、その中で検討していきたい。

(松井) 農協の選果場内の冷蔵庫には保管しているのは何ですか。

(建経課長) うけんMaréが開発したタンカージュース、シャーベツト等が入っている。

(松井) 今年度の予算に156万円が計上されているが、保管している商品の価値は。

(総企課長) 競売するので、その時しかわからない。

(村長) キヤスシステムのメンテナンス関係の見積りを業者(㈱アビー)にお願いしているが、まだ届いていないので、再請求している。

(松井) キヤスシステムを購入した時にどうして保守契約をしてないのか。

(建経課長) 購入当初は、機械を長期に休ませる



吉永 常明 議員

イノシン防護柵の今後の計画は。

元田村長／平成二十七年
度までに設置計画。

(吉永) 平田地区は旧防護柵の為、農地が荒れている状態にある。今後、平田地区の防護柵の計画は。

(村長) 県営の崎原地区農地環境整備事業を平成二十三年度から二十七年

度までの計画で平田地区の農業用水の取水口の改修

と、イノシン防護柵を施行する予定。優先順位は地元

住民の要望次第であるが、

二十七年までにはイノシン防護柵を設置する計画で

ある。

(吉永) 若い就農者を育

てるためにも平田地区、阿

室地区の農地整備は急務で

はないか。

(建経課長) 平田地区にお

いて農家の組合組織が高齢

化を理由に中止になってい

るが、再度立ち上げてもら

えるよう打診している状況

である。

上してあるが、村内全域の撤去作業には事業費が不足している。今後、補助事業などで予算枠の拡大を要望していきたい。

(吉永) 台風シーズンを迎え、枯損木の危険箇所もあるが早急な対策はとれないか。

(建経課長) 村内の危険箇所を調査している。除去については1800万円ほどかかる見込みであり、国に要望している。

(吉永) 当初予算の300万円の中で緊急を要する箇所を優先できないか。

(建経課長) 緊急な所から予算の範囲内でやっていき

たい。

枯損木の撤去予定は。

元田村長／予算枠の拡大を要望。

(吉永) 県道沿いの枯損木の撤去作業の予定は。

(村長) 平成二十四年度の当初予算で300万円計



▲ 枯損木とは松くい虫の被害を受けて枯れたリュウキュウ松

FMうけん難聴地域への取り組みは。

元田村長／三月末までに受信可能となる。

(吉 永) FMうけんが開局し三年目に入るが、未だに難聴地域がある。

難聴地域解消に向けての今後の対策は。

(村 長) 現在、宇検集落から76.3メガヘルツの電波を阿室校区へ発信する装置を整備し、三月末には受信が可能となる。

それでも地形的な関係で受信が悪いという場合は屋外アンテナを取り付ければ受信が可能となり、難聴地域は全て解消されるものと考えられる。屋外アンテナの取り付け工費は全て村の負担で行う。



交通事故再発防止の対策は。

元田村長／安全運転5則の徹底を指導。

(吉 永) 通勤途中の教職員及び職員の交通事故が発生したが、再発防止の対策は。

(村 長) 安全運転5則の徹底を指導し、交通ルールを守る意識の向上をはかっていく。

(教育長) 全ての教職員へ交通法規の遵守及びゆとりをもった通勤を指導している。管理職においては研修や会議の中で、危険予知に関する指導や事前研修を行っている。

職員においては一人一人に服務に関するチェックシートを記録させている。

(吉 永) 今回の事故は遠距離通勤も原因の一つと考えるが、地元に住むよう指導はできないか。

(教育長) 人事異動の際、校区内住宅に住んで頂くようお願いはするが、家庭の状況で遠距離通勤になっている。

安全運転 5 則

1. 安全速度を必ず守る
2. カーブの手前でスピードを落とす
3. 交差点では必ず安全を確かめる
4. 一時停止で横断歩行者の安全を守る
5. 飲酒運転は絶対にしない



第四次宇検村長期振興計画の進捗状況は。

元田村長／四つの分野別構想で取り組んでいる。



長田 新一 議員

・赤土山展望台などの観光関連施設整備の推進(観光)

(1-2) 産業の課題

- ・遊休農地の活用
- ・農家の経営の安定
- ・新たな作物への取組

・南部大島西回りコースの整備促進

・世界自然遺産登録に向けたガイドの育成、観光メニューの確立

(2-1) 生活環境の主な取組

・県道湯湾新村線の早期完成の推進

・集落間を結ぶ幹線道路の推進

・川田団地の住宅建設

・湯湾岳公園や峰田山公園の整備

・簡易水道統合事業を実施中(上水道)

・分別回収やりサイクルの推進(環境保全)

・堆肥センターの整備によりパークを利用した堆肥生産を行い農地に還元する循環

(1-1) 産業の主な取組

- ・基幹作物のタンカン、サトウキビ、カボチャ、マンガーを中心とした取組(農業)
- ・チップ工場の誘致による雇用確保(林業)
- ・うけん市場開設による地産地消の体制作り(商工業)
- ・地域商品券やけうちどんと券発行

環型社会の体制の整備

- ・防災無線のデジタル化
- ・コミュニティFMとの連携
- など通信手段の確保

(4.2) 教育文化の課題

- ・活性化対策委員会の取組
- ↓住宅の確保

(2.2) 生活環境の課題

- ・小規模住宅改修事業を始めとした事業の展開
- ・下水道加入率向上に向けた取組
- ・各集落の高台の避難所見直し(消防防災)

(3.1) 保健福祉の主な取組

- ・宇検診療所の民間運営による医療機関の確保
- ・公共施設のバリアフリ化を推進

(3.2) 保健福祉の課題

- ・高齢化が進む中、地域内の協力体制

(4.1) 教育文化の主な取組

- ・生涯教育の充実(公民館講座の開催、各種研修事業への参加推進)
- ・グラウンドゴルフ場建設
- ・公民館の改修工事の支援

る。

本格的な梅雨時期に備えるための対策は。

(村長) 急傾斜崩壊や地滑り、土石流、洪水危険箇所が数多く指定されており、毎年五月に開催される村の防災会議後に委員全員で点検を行っている。

どのような災害にも対応できるよう普段から職員や村民に防災意識の向上を啓発していきたい。

(長田) 津波対策の海拔表示板設置について。

(村長) 海拔表示板の設置は、平成二十四年度当初予算において海拔表示板の予算を計上し、村内の四十六カ所に設置する計画である。

(長田) 砂防ダムの土砂の点検は。

(建経課長) 県の施設であり、定期的に点検している。

(幸) 地域雇用創造推進事業及び地域雇用創造実現事業の責任問題について公開討論会開催を明言しているが、政治姿勢として施政方針に謳われていないが、今後の詳細については。

(村長) 宇検村雇用創造促進協議会の返還金問題については、幅広く住民に周知していただくために、公開的な討論会ないし、住民説明会を実施したい。

時期については、四月か五月には実施したいと考えている。

(幸) 公開討論会を開催してどのような解決方法を考えているのか。

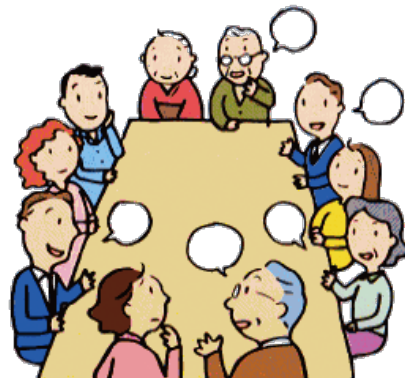
(村長) 行政からの一方的な説明だけでなく、住民と対話し、住民の声に答えることをやりたい。



幸 春美 議員

公開討論会開催の詳細は。

元田村長/時期とあり方を検討。



(幸) 地域雇用創造実現事業の二十年度、二十一年度決算報告をし、労働局よりは特に指摘もなく、二十二年度新たに事業委託を受けた経緯にあるが。

(総企課長) その通りと認識している。(事業報告、事業計画について)

(梅雨時期に備えての防災対策は。)

元田村長/防災委員で点検を行う。

(長田) 村長が常に安心して暮らせる環境づくりが行政の基本中の基本と言われますが、十四集落にはまだまだ危険箇所が多くあ

る。

(幸) 二十、二十一年度報告済みで二十二年度も同じ体制で事業を進めた。

指摘を受けたことは、促進協議会の指導不足に原因があり、あくまでも全体責任では。

(村 長) 責任の所在がどこにあるかは、住民討論会ないし説明会を開催して住民に説明し、住民が判断すべき。処分の詳細については、素人考えでするわけにいかないのでは法的に調査中である。

(幸) あくまでもこの事業は全体責任であると思うが。

(村 長) 一貫して申し上げましたがもちろん全体責任。ですから、それぞれの部署でそれぞれが責任を取るべきと考える。

金額においてはNPOに返してもらう問題だと思う。



稲澤 紀穂 議員

マニフェストの進歩状況は。

元田村長／まずまずの船出。

(稲 澤) 全員参加のむらづくりをキャッチフレーズに公約があるが、その進捗状況についてどのように自己評価をしているか。

(村 長) 総合的な評価としてまずまずの船出と申している。

就任一年余りでそれぞれの項目に種をまいたばかりで、まだ村民の目に留まる成果は見えていないが、私自身、実行に向かつて進んでいくものと考えている。

元田村長が掲げるマニフェスト

1. 住民が安心して暮らせる安らぎのある村づくり (健康・長寿・福祉)
2. お金になる産業の振興 (農業・水産業・林業・商工業)
3. 貴重な文化・歴史から学ぶ心豊かな教育
4. 広域的な取り組みによる自然を活かした村づくり (観光・地域開発)

予算編成に示した基本方針は。
元田村長／国の財政運営戦略方針を参考。

(稲 澤) 予算編成にあたって自ら示した基本方針は何か。

(村 長) 国の財政運営戦略方針を参考にしながら平成二十四年度の予算編成を行った。

社会保障関係費の大幅な増加が予想され、特別会計への繰出金が増加し一般会計を圧迫している状況にあり、基金からの繰入金が増加している。

歳出面においては、これまでの継続事業である簡易水道統合整備事業や下田橋の整備事業、小規模住宅改修事業などを進めていく。

新規事業として、林道阿室線の舗装工事、消防ポンプ車の購入費、第5次長期振興計画策定費、または診療体制充実の為に非常用発電機、医療機器の整備費用などを予算化している。



湯湾新村線の延長の見通しは。

元田村長／赤土山工区として新規要望。

(稲 澤) 平成二十四年度以降の県道関係の公共事業の見通しは。

(村 長) 県道関係では大畑工区と生勝校区が二十四年度に完了、平田工区が二十七年まで計画。

大畑工区の実施計画は、工区名を赤土山工区として二十五年に新規要望しているが、まだ確定ではないので、今後とも早期着工の要望をしていきたい。

(稲 澤) 湯湾新村線の延長計画をどう進めているか。

(建経課長) 次期計画で、工区名を新しく赤土山工区として、県の瀬戸内事務所が本庁に新規事業として要望しているところである。

(稲 澤) 今後の事業は現在の様な大々的な事業がで

きるか。

(建経課長) できるだけ二車線で利用価値の良い道路改良を要望していきたい。

活性化センターの今後の運営は。

元田村長／ワーキンググループを発足し検討。

(稲澤) 運営については、前回の定例会において今年のタンカンの時期から稼働したいとのことであったが、現状と今後の運営は。

(村長) 庁舎内においてワーキンググループを発足させ、結いの館の稼働に向けて最良の方策を検討しているところである。

(稲澤) 一年間全く稼働していないということは、村長の決断が遅いのではないか。村長の現段階における考えは。

(村長) 補助事業で建設した関係で県の了解をもら

わなければいけないと思う。運営の目的がたつまでは吟味をしながら進めたい。

(稲澤) 前回の定例会において、今年のタンカンの時期から稼働したいという発言があったが、どうして稼働していないか。

(村長) メンテナンスの関係で業者(株)アビーとの交渉が遅れたことが原因。



▲現在、稼働が止まっている「結いの館」

公開討論会の開催は。元田村長／早くも四月、遅くとも五月には実施。

(稲澤) 村長は十二月の

定例会で公開討論会をすると言明をされました。

その開催時期、内容などの詳細について村長の所見は。

(村長) 宇検村雇用創造推進協議会の返還金問題については、幅広く村民に周知していただくために検討会を開催した方がより公正公平で透明性のある村政運営ができるものと思っております。

現在、開催期間や討論会の在り方を検討中であるが、早くも四月、遅くとも五月中には実施をしたい。

(稲澤) 私は住民の代表機関である議会と協議することが当然であると考えているが、村長の考えは。

(村長) 事実をきちんと理解してもらうため直接、村民に説明会又は討論会をしたい。



喜島 孝行 議員

イノシシ被害の対策は。

元田村長／捕獲駆除を行う。

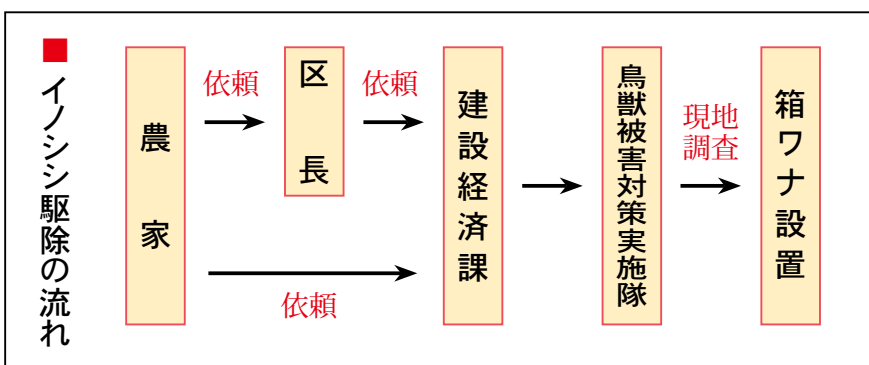
(喜島) イノシシが集落内まで出没し、相当な被害があり、早急な対策が必要だと思いが、村長の所見は。

(村長) 今年度に鳥獣被害対策実施隊を創設し、猟友会と連携しながら箱罠による捕獲駆除を行う予定。

箱罠の利用法等は宇検村鳥獣被害防止総合対策協議会において検討中で、農作物の被害を軽減させるため、よりよい方策を見出していきたい。

(喜島) マングースバスターズのような専門的な組

織を作る考えはないか。(建経課長) 役場の担当課の中に鳥獣被害対策実施隊を作ります。各校区に一基ずつ箱罠を配備するので、鳥獣被害防止総合対策協議会の方々と連携して捕獲駆除してほしい。



(喜 島) 芦検集落の当間地区のイノシシ防護柵の設置は。

(建経課長) 芦検集落区長からも要望があるが、当間地区は基盤整備外であり、国の補助事業では採択できないので、県営単独事業を要望している。



▲ 阿室地区へ整備されたイノシシ防護柵

大畑工区の完了後の計画は。
元田村長／早期着工を要望していく。

(喜 島) 湯湾新村線の現工区の改良工事は、今年度で終了するが、この路線は

カーブも多く見通しも悪いため事故等も発生しているので、是非、改良工事を進めて頂きたい。今後の改良工事の計画は。

(村 長) 赤土山工区として新規に要望しているが、確定ではないので、早期着工を積極的に要望していく。



返還金問題の進展は。
元田村長／請求書を送付する予定。

(喜 島) 昨年の十二月の定例会で、村が労働基準局へ返還した分をNPO法人うけんMareMareが村に返還するよう進めていく予定との村長の答弁があったが、その後の進展は。

(村 長) うけんMareMareから当法人の責任において誠意をもって対処しますとの報告を受けているが、返還はない。雇用創造促進協議会から請求書を送付する予定あり、一日も早い解決を望んでいる。

(喜 島) 返還金問題から一年以上経過しているが、どうなっているのか村民は、わからないと思う。

公開討論会、または説明会を是非、早急に開催すべきと思うが、村長の考えは。

(村 長) 早くて四月、遅くても五月までには開催し、村民に直接、説明させていただきたい。



▲ 5月11日に開催された平成24年度行政懇談会の様子



元山 公知 議員

新学習指導要領実施への対応は。
重枝教育長／万全を期している。

(元 山) 今年度四月から

中学校では、武道とダンスが必修化され、指導者の確保、施設や用具、道具の整備が必要だと思うが、対応できているか。

(教育長) 本村の武道教材の選択は、柔道一校、剣道二校、相撲一校で体育担当者が指導します。

これまでに県、地区の武道担当者、指導者研修会等に参加させ、指導技術の向上及び、事故防止対策の指導を受け、万全を期している。

施設用具等については、積極的に整備充実に努めていく。

青少年育成の日等の定着対策は。
重枝教育長／徹底した広報活動をする。

(元 山) 青少年育成の日などの定着を目指すための取り組みは。

(教育長) 村広報誌での掲載やFMうけんを活用し、保護者への周知徹底はもとより、村全体での意識の高揚を目指し、徹底した広報活動をしていく。

毎月第3土曜日	青少年育成の日
毎月第3日曜日	家庭の日
毎月19日	育児の日

(元 山) 本村の児童生徒の学力は、県平均を上回っているが、間違った聞き方があるが、間違いないですか。

(元 山) 学校生活では、様々な問題が発生します。保護者が相談できる窓口は、教育委員会にありますか。

(教育長) 小学校までは、県とほぼ同格にあるようですが、中学校一年二年と学年があがるにつれ、県平均をやや下回ってきています。

家庭学習の問題やいろいろな面で、県との差が出てくるのではないかと思います。

(元 山) 家庭での少しの学習サポートで、学力は伸びると思います。

第三日曜日家庭の日等をひとつでも徹底することによって、いい方向に進んで行くと思うが、どうですか。

(教育長) 小家庭学習の時間6090運動で、家庭学習が充実するよう指導している。親子の語りや体験活動のためには、青少年育成の日、家庭の日は大切だと思ふので、大いに啓発し、盛り上げていかなければな

らな。

(元 山) 学校生活では、様々な問題が発生します。保護者が相談できる窓口は、教育委員会にありますか。

(教育長) 特別に担当者は設けてないが、指導主事を中心に対応している。

(元 山) 活性化委員会は、阿室校区と名柄校区で組織されているが、親子山村留

の事業は地域活性化の一つの手段であり、活性化委員会の役目はそれだけではありません。

素晴らしい組織なので、もっと機能させて、地域活性化の方策等を提案してもらうように、働きかけていくべきだと思ふが、村長の考えは。

(村 長) 活性化委員会からの声を聞きながら、前向きに取り組んでいきたい。

文化財を地域活性化につなげる方策は。

重枝教育長／地域発展型の観光振興。

(元 山) 平成二十三年度

から文化庁の事業を導入し、本村の文化財等の資料が収集できたと思ふが、文化財をどのように観光に活かし、地域活性化につなげていくのか。

(教育長) 地域に点在するシマの宝をさらに掘り起こし、集落遺産に認定し、集落空間調査を実施します。

集落遺産マップを作成し、小中学生に配布し、郷土への愛着を高める資料として活用できればと思っている。

歴史的文化構想を作成し、観光は文化財、文化財は観光と意識する感覚を養うため、行政、民間が一体となった地域発展型の観光振興につなげたい。

(元 山) 集落マップはい

つ完成しますか。

(教育長) 地元学講座と協力しながら、二十四年度中には各小中学校へ配布したい。

自然環境教育の取組

は。重枝教育長／宇検村ならではの教育を目指す。

(元 山) 郷土に自信と誇りを持てる教育の一環として、自然環境教育は重要だと思ひます。

今後どのように取り組んでいくのか。

(教育長) 希少種のリュウキュウアユ保護活動、マンガローブ林の再生、ケムンにまつわる学習活動などを積極的に取り入れ、宇検村でしかできない自然環境教育に取り組んでいきたい。

(元 山) 前年度で県のリュウキュウアユ保全事業が終了しましたが、宇検村と

住用町にしか生息しないリュウキュウアユの保護活動は継続していくべきだと思ひます。奄美市と連携して取り組むべきだと思ふが、村長の考えは。

(村 長) 世界自然遺産の側面から考えても、大変重要なことだと思ふので、奄美市と意見交換し、県に要望しながら、積極的に取り組んでいきたい。

(元 山) 村内には、希少な動植物が生息しています。盗掘防止のためにボランティアで昼夜パトロールしている方々がいらつしやいます。大変ありがたいことです。その方々は動植物に大変詳しいので、連携することによって自然環境教育がよりよいものになると思ひますが、教育長の考えは。

(教育長) 地域の専門の方々に指導支援員としてお願いすることができるので、今後取り入れていきたい。

第30回南部町村議会議員大会・研修会

4月17日（火）大和村中央公民館に於いて、南部町村（瀬戸内・大和・宇検）議会議員大会が開催されました。各町村から下記の3項目の議題が提出され決議されました。

1. 松の枯損木除去事業予算枠の拡大を期する。
1. 国道58号線（奄美市役勝～網野子トンネル起点間、阿木名～勝浦間）の改良促進を期する。
1. 主要地方道名瀬・瀬戸内線の国直～根瀬部間トンネルの早期実現を期する。



～提案説明をする元山議員～



～研修会の様子～

議員大会終了後、講師にふもと けんご麓憲吾氏（特定非営利活動法人ディ!理事長兼放送局長）をお招きし、『地域が育てる島ラジオ』をテーマに研修会を行いました。

※講師の麓氏は父親が宇検村湯湾出身、母親が大和村大和出身の方です。

議会のうごき	
26日	最終本会議
21日	各種議定会（奄美市）
19日	全員協議会
16日	例月監査
14日	予算委員会
9日	第一回定例会
2日	議会運営委員会
3月	
15日	離島振興議会議長会定期総会（鹿児島市） 監査委員協議会定期総会・研修会（鹿児島市）
14日	町村議会議長会定期総会 例月監査
12日	宇検村完走歩大会
10日	各種協議会（奄美市）
2日	群島植樹祭（大和村）
2月	
26日	議員研修（鹿児島）
12日	例月監査
6日	消防出初め式
4日	成人式
1月	



なかだ みゆき 中田 美幸

人事異動のお知らせ

この度の役場の人事異動により前議会事務局の保枝力人が建設経済課に、新規採用で四月から議会事務局に中田美幸が着任致しました。今後ともよろしくお願い致します。

【編集後記】

私ごとになりますが、今年の四月で宇検村に移り住んで丸四年が経ちました。宇検村の歴史や方言、風習など、まだまだ勉強不足な点が多々ありますが、日々、新たな発見があり、定住しなければ分からないシマの魅力を感じています。

私のようにシマに魅力を感じ、移り住む人が増えることが私の願いの一つです。

「移住」して「定住」することは簡単なことではありませんが、「この村に住みたい！」と多くの人に感じてもらえるように多くの情報を発信していきたいと思えます。

四月から議会運営に携わることになり、様々な世代の方に興味をもってもらえるような、内容の充実した『議会だより』を作っていきたいと思えます。

皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いたします。

議会事務局 中田 美幸